

# 平成30年度 学校腎臓検診（検尿）集計結果報告書

## 静岡県医師会学校保健対策委員会 学校腎臓検診結果検討小委員会

委員長 野口 泰之（静岡県医師会）  
副委員長 北山 浩嗣（静岡県立こども病院）  
委員 渡邊 正規（富士市医師会）  
      湊上 佐智子（沼津医師会）  
      水野 恵介（静岡市静岡医師会）  
      山本 雅紀（聖隷浜松病院）

※この報告書は静岡県医師会ウェブサイトでもご覧いただけます。  
<http://www.shizuoka.med.or.jp/doctor/d016/d023>

# 平成30年度 学校腎臓検診（検尿）集計によせて

平成30年度の学校腎臓検診（学校検尿）結果の集計がまとまりましたのでご報告致します。平成28年度の改訂第四版による「学校検尿指針」に沿って3年目となります。この指針のポイントは尿蛋白クレアチニン比によって偽陽性（濃い尿で起こる現象）、偽陰性（薄い尿で起こる現象）を減少させ、真の陽性、陰性を確認できることです。これによって本当は、受診しなくても良い人が減少し、本当に受診しなくてはいけない人のみを受診するようになる、素晴らしいシステムです。

平成30年度の学校検尿実施者数は282,111名（昨年度より3,544名減少）で、毎年約3,500名減少しています。（平成31年3月人口表より静岡県人口3,649,894人/静岡県小中学校在籍者数計283,087人（人口比7.8%））

一次検査陽性者数は5,961名で陽性者率2.11%（小学生1.03%、中学生4.35%）、二次検査陽性者数は1,066名、陽性者率0.38%（小学生0.24%、中学生0.67%）で、昨年度と比較して一次陽性者は実数、率共に減少、二次陽性者も共に減少していました。

三次精密検診者数は1,190名（昨年度より311名減少）でした。例年のことですが、三次精密検診者数が二次陽性者数を上回る理由として、緊急受診システムに従って二次検査を受けずに三次精密検診に回った児や、すでに通院治療中で一次・二次検査を受けずに精密検診に回った児が含まれていると思われました。

三次精密検診者数1,190名（検尿実施者全体に対する率は0.42%）のうち、有所見者数は751名（昨年度より154名減少、検尿実施者全体に対する率は0.27%）でした。過去5年の三次精密検診者数の検尿実施者全体に対する率は中央値0.41%（0.40~0.53%）であり例年と大きな変化はありませんでした。また同様に有所見者数の率も、過去5年の中央値0.32%（0.26~0.36%）で例年と大きな変動はありませんでした。

有所見者の平成30年度内訳は、無症候性血尿379名（0.13%）、無症候性蛋白尿108名（0.04%）、腎炎・腎炎疑い121名（0.04%）、糖尿病55名（0.02%）、その他88名（0.03%）でした。有所見者内訳の過去5年の%の各々中央値、幅が、無症候性血尿0.15%（0.12~0.16%）、無症候性蛋白尿0.05%（0.04~0.07%）、腎炎・腎炎疑い0.05%（0.04~0.06%）、糖尿病0.02%（0.02%）、その他0.04%（0.03~0.05%）という結果で基本的に例年通りの結果でした。

改訂第四版による「学校検尿指針」の導入、すなわち尿蛋白/尿クレアチニン比の判定導入によって、良い傾向が継続していました。一つ目は、中学生は尿比重が高く蛋白尿が偽陽性となり、無症候性蛋白尿と判定されていました。しかし尿蛋白/クレアチニン比によって、異常なしと適正に評価されていると考えられました。二つ目は、蛋白尿が偽陽性となって腎炎疑い（蛋白尿、血尿共に陽性）とされていた児が、適正に無症候性血尿（真の蛋白尿陰性で血尿のみ陽性）と判定されるようになり、不要な偽陽性による受診も減少している良い状態と考えられました。

全県統一基準での緊急受診システムは、開始6年目となりました。今年度の緊急受診者の人数は、昨年度と同じ26名（糖尿病が最多の10症例）でした。平成28年度以前は、緊急受診者の人数が非常に多く混乱がありましたが、改善してきていると考えられました。緊急受診の目的は新規で尿所見が強陽性となり、重症化する前に医療機関を受診していただくことです。診断されて各病院で管理されている人は対象とはなりません。しかし、対象外の人が緊急受診している可能性があり、確認して緊急受診の周知をしていくようにします。

平成30年度の学校腎臓検診結果検討小委員会において、改訂第四版のシステムに適切に則って御紹介された患者様で、平成30年度に腎生検が行われた事例がありました。その結果が既に慢性病変が存在して、その慢性病変に対しては治療が困難（ただし同時に存在する急性期病変に対しては免疫抑制療法で加療して奏功）であった症例が報告されました（最終観察時の腎機能は正常）。これを受けて、より早期に受診することで、慢性病変をより少なくして予後を改善できるシステムを、改訂第五版として検討しております。具体的には、現在3か月毎の受診を、3か月未満のより早期に受診できる間隔に変更（大枠を変えない小さな変更）を考慮しております。

学校検尿に携わっていただいている先生方が尿蛋白/尿クレアチニン比を施行して頂くようになり、フォロー

を統一化した静岡県の学校検尿システム・緊急受診システムも軌道に乗ってきたのではないかと感じております。この方法をしばらく継続し前述のような問題点を修正していくこと、懸案である地域差の問題や公立小中学校以外の児童、高校生への検尿システムなどを今後も検討していきたいと考えております。これからもよりよい学校検尿にご協力をお願い致します。この場を借りて、学校検尿に関わる全ての皆さまに深謝致します。

最後に、長期に渡り静岡県学校検尿に御尽力されてこられた和田尚弘先生が、平成29年度をもって静岡県立こども病院を退職され、当小委員会委員も退任されました。この場を借りて、素晴らしい静岡県学校検尿の礎を築かれた和田先生に深謝致します。

静岡県医師会学校保健対策委員会  
 学校腎臓検診結果検討小委員会 副委員長 北山 浩嗣

## 平成30年度学校腎臓検診(検尿)集計結果 小・中学校総計

学校区分 (在籍者数)	1次検査		2次検査		精密検診者数	有所見者数	有所見者内訳					
	検査者数	陽性者数	検査者数	陽性者数			無症候性血尿	無症候性蛋白尿	腎炎疑い	糖尿病	その他	
小学校計 (190,153名)	男	96,952	600	576	144	197	168	80	10	41	10	27
	率		0.62%	0.59%	0.15%	0.20%	0.17%	0.08%	0.01%	0.04%	0.01%	0.03%
	女	93,115	1,359	1,336	305	363	267	152	29	38	24	24
	率		1.46%	1.43%	0.33%	0.39%	0.29%	0.16%	0.03%	0.04%	0.03%	0.03%
	計	190,067	1,959	1,912	449	560	435	232	39	79	34	51
率		1.03%	1.01%	0.24%	0.29%	0.23%	0.12%	0.02%	0.04%	0.02%	0.03%	
中学校計 (92,934名)	男	47,658	1,479	1,460	279	282	139	50	42	22	9	16
	率		3.10%	3.06%	0.59%	0.59%	0.29%	0.10%	0.09%	0.05%	0.02%	0.03%
	女	44,386	2,523	2,502	338	348	177	97	27	20	12	21
	率		5.68%	5.64%	0.76%	0.78%	0.40%	0.22%	0.06%	0.05%	0.03%	0.05%
	計	92,044	4,002	3,962	617	630	316	147	69	42	21	37
率		4.35%	4.30%	0.67%	0.68%	0.34%	0.16%	0.07%	0.05%	0.02%	0.04%	
小・中学校計 (283,087名)	男	144,610	2,079	2,036	423	479	307	130	52	63	19	43
	率		1.44%	1.41%	0.29%	0.33%	0.21%	0.09%	0.04%	0.04%	0.01%	0.03%
	女	137,501	3,882	3,838	643	711	444	249	56	58	36	45
	率		2.82%	2.79%	0.47%	0.52%	0.32%	0.18%	0.04%	0.04%	0.03%	0.03%
	計	282,111	5,961	5,874	1,066	1,190	751	379	108	121	55	88
率		2.11%	2.08%	0.38%	0.42%	0.27%	0.13%	0.04%	0.04%	0.02%	0.03%	

注) 率の数値は、第1次検査者数に対する比率。

# 平成30年度学校腎臓検診(検尿)集計結果

## 小 学 校 (1)

郡市医師会名		1次検査		2次検査		精密検診者数	有所見者数	有所見者内訳				
		検査者数	陽性者数	検査者数	陽性者数			無症候性血尿	無症候性蛋白尿	腎炎疑い	糖尿病	その他
賀 茂	男	1,143	3	5	1	1	1	0	0	0	1	0
	女	1,187	17	16	4	5	4	1	1	0	1	1
	計	2,330	20	21	5	6	5	1	1	0	2	1
	率		0.86%	0.90%	0.21%	0.26%	0.21%	0.04%	0.04%	0.00%	0.09%	0.04%
田 方	男	2,734	16	14	6	8	7	2	2	1	1	1
	女	2,572	46	43	6	9	7	4	2	1	0	0
	計	5,306	62	57	12	17	14	6	4	2	1	1
	率		1.17%	1.07%	0.23%	0.32%	0.26%	0.11%	0.08%	0.04%	0.02%	0.02%
伊 東 市	男	1,390	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	1,315	18	18	5	5	5	4	1	0	0	0
	計	2,705	23	23	5	5	5	4	1	0	0	0
	率		0.85%	0.85%	0.18%	0.18%	0.18%	0.15%	0.04%	0.00%	0.00%	0.00%
熱 海 市	男	491	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	528	7	7	0	1	1	0	0	0	1	0
	計	1,019	9	9	0	1	1	0	0	0	1	0
	率		0.88%	0.88%	0.00%	0.10%	0.10%	0.00%	0.00%	0.00%	0.10%	0.00%
御 殿 場 市	男	3,070	23	22	4	7	4	1	0	1	1	1
	女	2,991	36	36	8	8	4	4	0	0	0	0
	計	6,061	59	58	12	15	8	5	0	1	1	1
	率		0.97%	0.96%	0.20%	0.25%	0.13%	0.08%	0.00%	0.02%	0.02%	0.02%
三 島 市	男	3,002	20	19	4	5	4	2	1	1	0	0
	女	2,820	48	46	11	14	12	7	2	2	0	1
	計	5,822	68	65	15	19	16	9	3	3	0	1
	率		1.17%	1.12%	0.26%	0.33%	0.27%	0.15%	0.05%	0.05%	0.00%	0.02%
沼 津	男	8,142	59	59	25	33	32	18	0	5	2	7
	女	7,866	87	100	30	39	30	20	1	6	2	1
	計	16,008	146	159	55	72	62	38	1	11	4	8
	率		0.91%	0.99%	0.34%	0.45%	0.39%	0.24%	0.01%	0.07%	0.02%	0.05%
富 士 市	男	6,806	42	39	14	23	20	10	4	3	0	3
	女	6,705	83	72	24	43	32	20	4	4	3	1
	計	13,511	125	111	38	66	52	30	8	7	3	4
	率		0.93%	0.82%	0.28%	0.49%	0.38%	0.22%	0.06%	0.05%	0.02%	0.03%
富 士 宮 市	男	3,657	19	18	3	4	2	0	0	1	0	1
	女	3,549	47	46	12	13	8	2	2	1	2	1
	計	7,206	66	64	15	17	10	2	2	2	2	2
	率		0.92%	0.89%	0.21%	0.24%	0.14%	0.03%	0.03%	0.03%	0.03%	0.03%
庵 原	男	344	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	388	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	732	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	率		0.68%	0.68%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
静 岡 市 清 水	男	4,963	36	35	5	8	7	3	0	4	0	0
	女	4,783	85	88	16	22	14	8	1	1	0	4
	計	9,746	121	123	21	30	21	11	1	5	0	4
	率		1.24%	1.26%	0.22%	0.31%	0.22%	0.11%	0.01%	0.05%	0.00%	0.04%
静 岡 市 静 岡	男	11,457	84	84	18	24	17	7	0	6	1	3
	女	10,815	178	179	40	43	29	13	6	4	3	3
	計	22,272	262	263	58	67	46	20	6	10	4	6
	率		1.18%	1.18%	0.26%	0.30%	0.21%	0.09%	0.03%	0.04%	0.02%	0.03%

# 平成30年度学校腎臓検診(検尿)集計結果

## 小 学 校 (2)

郡市医師会名		1次検査		2次検査		精密検診者数	有所見者数	有所見者内訳				
		検査者数	陽性者数	検査者数	陽性者数			無症候性血尿	無症候性蛋白尿	腎炎疑い	糖尿病	その他
焼津市	男	3,192	20	18	4	8	7	2	1	1	0	3
	女	3,007	28	26	4	4	3	2	0	0	0	1
	計	6,199	48	44	8	12	10	4	1	1	0	4
	率		0.77%	0.71%	0.13%	0.19%	0.16%	0.06%	0.02%	0.02%	0.00%	0.06%
志太	男	4,669	15	14	4	6	6	4	0	1	0	1
	女	4,528	43	40	11	15	12	5	1	3	1	2
	計	9,197	58	54	15	21	18	9	1	4	1	3
	率		0.63%	0.59%	0.16%	0.23%	0.20%	0.10%	0.01%	0.04%	0.01%	0.03%
鳥田市	男	2,038	8	8	1	2	2	1	0	1	0	0
	女	2,012	22	22	5	6	6	4	0	2	0	0
	計	4,050	30	30	6	8	8	5	0	3	0	0
	率		0.74%	0.74%	0.15%	0.20%	0.20%	0.12%	0.00%	0.07%	0.00%	0.00%
榛原	男	2,989	20	20	4	4	2	2	0	0	0	0
	女	2,847	55	52	11	12	9	5	0	0	0	4
	計	5,836	75	72	15	16	11	7	0	0	0	4
	率		1.29%	1.23%	0.26%	0.27%	0.19%	0.12%	0.00%	0.00%	0.00%	0.07%
小笠	男	5,212	27	26	5	7	5	2	0	1	1	1
	女	5,113	54	53	17	16	9	6	1	1	1	0
	計	10,325	81	79	22	23	14	8	1	2	2	1
	率		0.78%	0.77%	0.21%	0.22%	0.14%	0.08%	0.01%	0.02%	0.02%	0.01%
磐周	男	4,131	25	24	7	7	4	0	1	3	0	0
	女	3,731	69	67	14	13	11	7	0	2	1	1
	計	7,862	94	91	21	20	15	7	1	5	1	1
	率		1.20%	1.16%	0.27%	0.25%	0.19%	0.09%	0.01%	0.06%	0.01%	0.01%
磐田市	男	4,380	24	23	8	9	8	6	0	1	0	1
	女	4,327	55	52	10	11	6	4	0	0	1	1
	計	8,707	79	75	18	20	14	10	0	1	1	2
	率		0.91%	0.86%	0.21%	0.23%	0.16%	0.11%	0.00%	0.01%	0.01%	0.02%
浜松市	男	16,425	104	96	24	31	32	17	1	10	1	3
	女	15,660	269	264	50	57	47	25	6	9	6	1
	計	32,085	373	360	74	88	79	42	7	19	7	4
	率		1.16%	1.12%	0.23%	0.27%	0.25%	0.13%	0.02%	0.06%	0.02%	0.01%
浜名	男	2,284	15	15	3	3	2	1	0	0	0	1
	女	2,240	44	44	10	10	7	5	0	2	0	0
	計	4,524	59	59	13	13	9	6	0	2	0	1
	率		1.30%	1.30%	0.29%	0.29%	0.20%	0.13%	0.00%	0.04%	0.00%	0.02%
浜松市浜北	男	3,248	22	20	1	4	4	1	0	0	2	1
	女	3,023	49	48	13	11	8	4	1	0	1	2
	計	6,271	71	68	14	15	12	5	1	0	3	3
	率		1.13%	1.08%	0.22%	0.24%	0.19%	0.08%	0.02%	0.00%	0.05%	0.05%
引佐郡	男	1,185	8	7	3	3	2	1	0	1	0	0
	女	1,108	17	15	4	6	3	2	0	0	1	0
	計	2,293	25	22	7	9	5	3	0	1	1	0
	率		1.09%	0.96%	0.31%	0.39%	0.22%	0.13%	0.00%	0.04%	0.04%	0.00%
合計	男	96,952	600	576	144	197	168	80	10	41	10	27
	女	93,115	1,359	1,336	305	363	267	152	29	38	24	24
	計	190,067	1,959	1,912	449	560	435	232	39	79	34	51
	率		1.03%	1.01%	0.24%	0.29%	0.23%	0.12%	0.02%	0.04%	0.02%	0.03%

注) 率の数値は、第1次検査者数に対する比率。

# 平成30年度学校腎臓検診(検尿)集計結果

## 中 学 校 (1)

郡市医師会名		1次検査		2次検査		精密検診者数	有所見者数	有所見者内訳				
		検査者数	陽性者数	検査者数	陽性者数			無症候性血尿	無症候性蛋白尿	腎炎疑い	糖尿病	その他
賀 茂	男	691	21	21	1	2	2	1	1	0	0	0
	女	651	32	32	7	5	3	0	1	1	0	1
	計	1,342	53	53	8	7	5	1	2	1	0	1
	率		3.95%	3.95%	0.60%	0.52%	0.37%	0.07%	0.15%	0.07%	0.00%	0.07%
田 方	男	1,463	42	36	7	4	1	0	1	0	0	0
	女	1,400	72	65	11	11	4	2	0	0	1	1
	計	2,863	114	101	18	15	5	2	1	0	1	1
	率		3.98%	3.53%	0.63%	0.52%	0.17%	0.07%	0.03%	0.00%	0.03%	0.03%
伊 東 市	男	755	28	26	6	6	5	2	0	0	1	2
	女	734	51	51	5	3	3	1	1	1	0	0
	計	1,489	79	77	11	9	8	3	1	1	1	2
	率		5.31%	5.17%	0.74%	0.60%	0.54%	0.20%	0.07%	0.07%	0.07%	0.13%
熱 海 市	男	271	12	12	1	1	1	0	0	0	0	1
	女	275	20	20	0	1	1	0	1	0	0	0
	計	546	32	32	1	2	2	0	1	0	0	1
	率		5.86%	5.86%	0.18%	0.37%	0.37%	0.00%	0.18%	0.00%	0.00%	0.18%
御 殿 場 市	男	1,630	31	29	8	8	4	1	1	0	0	2
	女	1,382	57	54	8	10	4	1	1	1	1	0
	計	3,012	88	83	16	18	8	2	2	1	1	2
	率		2.92%	2.76%	0.53%	0.60%	0.27%	0.07%	0.07%	0.03%	0.03%	0.07%
三 島 市	男	1,475	38	37	7	6	1	1	0	0	0	0
	女	1,410	48	45	5	7	3	1	0	0	0	2
	計	2,885	86	82	12	13	4	2	0	0	0	2
	率		2.98%	2.84%	0.42%	0.45%	0.14%	0.07%	0.00%	0.00%	0.00%	0.07%
沼 津	男	4,095	93	121	22	27	18	11	2	3	0	2
	女	3,995	189	246	44	59	31	21	2	4	2	2
	計	8,090	282	367	66	86	49	32	4	7	2	4
	率		3.49%	4.54%	0.82%	1.06%	0.61%	0.40%	0.05%	0.09%	0.02%	0.05%
富 士 市	男	3,367	91	88	32	31	12	4	4	3	1	0
	女	3,242	101	97	27	28	10	7	1	1	1	0
	計	6,609	192	185	59	59	22	11	5	4	2	0
	率		2.91%	2.80%	0.89%	0.89%	0.33%	0.17%	0.08%	0.06%	0.03%	0.00%
富 士 宮 市	男	1,858	54	51	6	8	3	1	2	0	0	0
	女	1,668	79	77	10	7	4	3	1	0	0	0
	計	3,526	133	128	16	15	7	4	3	0	0	0
	率		3.77%	3.63%	0.45%	0.43%	0.20%	0.11%	0.09%	0.00%	0.00%	0.00%
庵 原	男	217	5	5	0	2	2	0	0	0	2	0
	女	212	24	23	6	7	4	3	0	1	0	0
	計	429	29	28	6	9	6	3	0	1	2	0
	率		6.76%	6.53%	1.40%	2.10%	1.40%	0.70%	0.00%	0.23%	0.47%	0.00%
静 岡 市 清 水	男	2,535	95	90	17	19	8	1	5	0	0	2
	女	2,515	192	184	21	20	9	6	0	0	0	3
	計	5,050	287	274	38	39	17	7	5	0	0	5
	率		5.68%	5.43%	0.75%	0.77%	0.34%	0.14%	0.10%	0.00%	0.00%	0.10%
静 岡 市 静 岡	男	5,093	203	197	40	46	23	7	9	6	1	0
	女	4,696	348	331	50	51	24	13	7	1	1	2
	計	9,789	551	528	90	97	47	20	16	7	2	2
	率		5.63%	5.39%	0.92%	0.99%	0.48%	0.20%	0.16%	0.07%	0.02%	0.02%

# 平成30年度学校腎臓検診(検尿)集計結果

## 中 学 校 (2)

郡市医師会名		1次検査		2次検査		精密検診者数	有所見者数	有所見者内訳				
		検査者数	陽性者数	検査者数	陽性者数			無症候性血尿	無症候性蛋白尿	腎炎疑い	糖尿病	その他
焼津市	男	1,571	44	41	7	7	6	2	1	2	1	0
	女	1,370	49	41	1	3	1	0	0	0	1	0
	計	2,941	93	82	8	10	7	2	1	2	2	0
	率		3.16%	2.79%	0.27%	0.34%	0.24%	0.07%	0.03%	0.07%	0.07%	0.00%
志太	男	2,169	47	44	10	11	4	1	1	0	1	1
	女	2,015	49	47	12	13	6	4	1	1	0	0
	計	4,184	96	91	22	24	10	5	2	1	1	1
	率		2.29%	2.17%	0.53%	0.57%	0.24%	0.12%	0.05%	0.02%	0.02%	0.02%
島田市	男	990	15	14	4	5	4	4	0	0	0	0
	女	876	29	26	0	3	3	3	0	0	0	0
	計	1,866	44	40	4	8	7	7	0	0	0	0
	率		2.36%	2.14%	0.21%	0.43%	0.38%	0.38%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
榛原	男	1,468	42	42	8	7	3	1	0	0	0	2
	女	1,356	70	66	6	8	4	1	0	1	2	0
	計	2,824	112	108	14	15	7	2	0	1	2	2
	率		3.97%	3.82%	0.50%	0.53%	0.25%	0.07%	0.00%	0.04%	0.07%	0.07%
小笠	男	2,566	80	76	8	7	3	2	0	1	0	0
	女	2,384	114	114	18	15	9	2	3	1	1	2
	計	4,950	194	190	26	22	12	4	3	2	1	2
	率		3.92%	3.84%	0.53%	0.44%	0.24%	0.08%	0.06%	0.04%	0.02%	0.04%
磐周	男	1,954	56	56	11	8	6	1	3	1	0	1
	女	1,855	112	109	14	14	10	4	3	2	1	0
	計	3,809	168	165	25	22	16	5	6	3	1	1
	率		4.41%	4.33%	0.66%	0.58%	0.42%	0.13%	0.16%	0.08%	0.03%	0.03%
磐田市	男	2,090	70	69	12	12	7	2	3	2	0	0
	女	2,070	162	159	13	11	6	2	1	1	0	2
	計	4,160	232	228	25	23	13	4	4	3	0	2
	率		5.58%	5.48%	0.60%	0.55%	0.31%	0.10%	0.10%	0.07%	0.00%	0.05%
浜松市	男	8,162	291	285	49	44	17	6	5	3	1	2
	女	7,275	525	515	52	45	24	11	3	4	1	5
	計	15,437	816	800	101	89	41	17	8	7	2	7
	率		5.29%	5.18%	0.65%	0.58%	0.27%	0.11%	0.05%	0.05%	0.01%	0.05%
浜名	男	1,245	47	47	11	10	4	2	2	0	0	0
	女	1,094	49	49	11	11	7	5	1	0	0	1
	計	2,339	96	96	22	21	11	7	3	0	0	1
	率		4.10%	4.10%	0.94%	0.90%	0.47%	0.30%	0.13%	0.00%	0.00%	0.04%
浜松市浜北	男	1,380	46	45	3	3	2	0	0	1	0	1
	女	1,378	112	112	11	10	4	4	0	0	0	0
	計	2,758	158	157	14	13	6	4	0	1	0	1
	率		5.73%	5.69%	0.51%	0.47%	0.22%	0.15%	0.00%	0.04%	0.00%	0.04%
引佐郡	男	613	28	28	9	8	3	0	2	0	1	0
	女	533	39	39	6	6	3	3	0	0	0	0
	計	1,146	67	67	15	14	6	3	2	0	1	0
	率		5.85%	5.85%	1.31%	1.22%	0.52%	0.26%	0.17%	0.00%	0.09%	0.00%
合計	男	47,658	1,479	1,460	279	282	139	50	42	22	9	16
	女	44,386	2,523	2,502	338	348	177	97	27	20	12	21
	計	92,044	4,002	3,962	617	630	316	147	69	42	21	37
	率		4.35%	4.30%	0.67%	0.68%	0.34%	0.16%	0.07%	0.05%	0.02%	0.04%

注) 率の数値は、第1次検査者数に対する比率。

# 平成30年度 学校脊柱側弯症検診集計結果報告書

## 静岡県医師会学校保健対策委員会 学校脊柱検診結果検討小委員会

委員長	司馬	立	(静岡市静岡医師会)
副委員長	加陽	直実	(静岡県医師会)
委員	守重	幸雄	(沼津医師会)
	杉山	達郎	(田方医師会)
	松永	和彦	(島田市医師会)
	林	卓司	(浜松市医師会)
	木佐森	茂樹	(磐田市医師会)
	村田	英之	(静岡県整形外科医会 菊川市立総合病院)
	滝川	一晴	(静岡県立こども病院)

※この報告書は静岡県医師会ウェブサイトでもご覧いただけます。  
<http://www.shizuoka.med.or.jp/doctor/d016/d023>



# 平成30年度 学校脊柱側弯症検診集計によせて

平成30年度の学校脊柱側弯症検診結果がまとまりましたのでご報告致します。

検査者数は小学校では189,702名(男96,751名、女92,951名)、1次検診陽性者数は2,649名(男1,297名、女1,352名)、陽性者の割合は1.40%(男1.34%、女1.45%)でした。2次検診陽性者数は337名(男129名、女208名)で陽性者の割合は0.18%(男0.13%、女0.22%)でした。中学校の検査者数は91,381名(男47,213名、女44,168名)、1次検診陽性者数は2,664名(男953名、女1,711名)、陽性者の割合は2.92%(男2.02%、女3.87%)でした。2次検診陽性者数は592名(男97名、女495名)で陽性者の割合は0.65%(男0.21%、女1.12%)でした。

4年前より集計を開始した小6女子、中1女子それぞれの検査者数は15,861名、14,336名で、1次検診陽性者数は322名、801名、その割合は2.03%、5.60%、2次検診陽性者数は61名、234名でその割合は0.38%、1.64%でした(平成29年度の小6女子、中1女子の2次検診陽性者の割合はそれぞれ0.35%、1.76%)。

学校脊柱検診結果検討小委員会で毎年挙がる脊柱側弯症検診の問題点は以下の4点に集約されます。1) 1次検診陽性率の地域間格差および2) 地域内格差、3) 1次検診陽性者ゼロの学校が多い、4) 2次検診未受診者が20%に達している(平成30年度は小6女子24.5%、中1女子19.1%)。

今年度の中学女子1～3年生の生徒数合計50名以上の学校226校中42校が1次検診の女子陽性者数ゼロで全体の18.6%に相当します(なぜ50名以上で検討したかと言うと、学校脊柱側弯症検診の指針で1次検診陽性率4%が目標となっており、女子数が50名いれば計算上は少なくとも2名は1次検診陽性となり、ゼロの可能性は極めて少ないから)。統計処理の方法が多少異なりますが、平成22年度の中学男女側弯症検診集計結果では33.4%の学校で1次検診陽性者ゼロであったことを考えると、全県での保護者への脊柱検診調査票の配布や平成28年度より開始された運動器検診の影響、もちろん関係各位のご努力など色々な要因でかなり改善はしています。

しかし、2次検診未受診者の割合は、平成22年度は中学生全体で23%でしたが、今年度は中学生全体の2次検診対象者2,453名中、2次検診受診者数は1,791名で2次検診未受診者の割合は27%と明らかに悪化しています。側弯症が発症、進行しやすい小6、中1女子の2次検診未受診者の割合は上記4)の如くです。今年度2次検診を受診した方の10度以上の側弯症の割合は小6女子で25.3%、中1女子で37.7%ですので、2次検診未受診者に多くの10度以上の側弯症が含まれている事は容易に想像できます。この悪化傾向は早急に歯止めをかける必要があります。既に行われている地域もあるかとも思いますが、2次検診の結果通知書未提出の保護者に対して更に受診を促す、側弯症未治療進行例の経過がどうなるか知らせるなどの対応が必要です。県立こども病院整形外科は学校脊柱側弯症検診の指針の専門治療機関として、年間100名前後の新規の側弯症患者を診療する機会があります。1次検診で指摘を受けたにもかかわらず2次検診を未受診で、側弯症が手術対応の必要な状態に進行してから当科を受診される方が散見されます。側弯症治療は早期発見及び進行が予想される方には体幹装具治療を行うことがとても大切です。今後ともご協力の程宜しくお願い致します。

静岡県医師会学校保健対策委員会

学校脊柱検診結果検討小委員会 委員 滝川 一晴

# 学校脊柱側弯症検診 最近5年間の集計結果推移

学校区分	年度	検査者数(名)			2次陽性者数(名)						内20度以上者数(名)		
		男	女	計	男	率	女	率	計	率	男	女	計
小学校	平成26年度	101,078	95,914	196,992	94	0.09%	213	0.22%	307	0.16%	5	35	40
	平成27年度	99,471	94,949	194,420	95	0.10%	194	0.20%	289	0.15%	6	34	40
	平成28年度	98,420	93,824	192,244	139	0.14%	263	0.28%	402	0.21%	13	35	48
	平成29年度	97,350	93,174	190,524	118	0.12%	200	0.21%	318	0.17%	3	29	32
	平成30年度	96,751	92,951	189,702	129	0.13%	208	0.22%	337	0.18%	9	31	40
中学校	平成26年度	50,855	47,451	98,306	87	0.17%	497	1.05%	584	0.59%	12	133	145
	平成27年度	50,295	46,511	96,806	81	0.16%	608	1.31%	689	0.71%	13	179	192
	平成28年度	49,626	46,197	95,823	116	0.23%	547	1.18%	663	0.69%	15	161	176
	平成29年度	48,857	45,274	94,131	105	0.21%	531	1.17%	636	0.68%	9	134	143
	平成30年度	47,213	44,168	91,381	97	0.21%	495	1.12%	592	0.65%	14	149	163

## 女子の集計結果推移 (小6・中1)

※平成27年度から集計開始

学年区分	年度	検査者数(名)	1次陽性者		2次陽性者		内20度以上者数(名)
			人数(名)	率	人数(名)	率	
小6	平成27年度	16,266	320	1.97%	66	0.41%	15
	平成28年度	15,942	391	2.45%	93	0.58%	21
	平成29年度	15,279	311	2.04%	54	0.35%	10
	平成30年度	15,861	322	2.03%	61	0.38%	17
中1	平成27年度	15,398	908	5.90%	295	1.92%	73
	平成28年度	15,267	840	5.50%	259	1.70%	57
	平成29年度	14,905	797	5.35%	263	1.76%	61
	平成30年度	14,336	801	5.60%	234	1.64%	67

# 平成30年度学校脊柱側弯症検診 集計結果

## 小 学 校 (1)

郡市医師会名		1次検診			2次検診(精密検診)				2次検診(精密検診)陽性者の内訳					検診未受診者のうち、以前より治療中の児童数
		検査者数 (①)	陽性者数 (②)	率 (③)	対象者数	受診者数	陽性者数 (④)	率 (⑤)	側弯の度		側弯の種別			
									10度~19度	20度以上	特発性	先天性	その他 (マルファン他)	
賀 茂	男	1,143	7	0.61%	7	5	1	0.09%	1	0	1	0	0	0
	女	1,186	12	1.01%	12	10	1	0.08%	0	1	1	0	0	0
	計	2,329	19	0.82%	19	15	2	0.09%	1	1	2	0	0	0
田 方	男	2,717	80	2.94%	79	63	2	0.07%	2	0	2	0	0	1
	女	2,562	92	3.59%	90	73	7	0.27%	6	1	6	0	1	3
	計	5,279	172	3.26%	169	136	9	0.17%	8	1	8	0	1	4
伊 東 市	男	1,382	7	0.51%	7	6	1	0.07%	1	0	1	0	0	1
	女	1,299	7	0.54%	7	7	1	0.08%	1	0	1	0	0	0
	計	2,681	14	0.52%	14	13	2	0.07%	2	0	2	0	0	1
熱 海 市	男	488	11	2.25%	11	7	1	0.20%	1	0	1	0	0	1
	女	526	6	1.14%	6	4	0	0.00%	0	0	0	0	0	0
	計	1,014	17	1.68%	17	11	1	0.10%	1	0	1	0	0	1
御殿場市	男	3,067	31	1.01%	31	29	1	0.03%	1	0	1	0	0	0
	女	2,991	26	0.87%	26	24	1	0.03%	1	0	0	1	0	0
	計	6,058	57	0.94%	57	53	2	0.03%	2	0	1	1	0	0
三 島 市	男	2,980	37	1.24%	37	28	6	0.20%	6	0	6	0	0	3
	女	2,814	28	1.00%	28	22	6	0.21%	6	0	6	0	0	0
	計	5,794	65	1.12%	65	50	12	0.21%	12	0	12	0	0	3
沼 津	男	8,110	169	2.08%	167	136	11	0.14%	10	1	9	1	1	9
	女	7,844	201	2.56%	195	156	25	0.32%	21	4	22	0	3	9
	計	15,954	370	2.32%	362	292	36	0.23%	31	5	31	1	4	18
富 士 市	男	6,796	238	3.50%	236	175	26	0.38%	25	1	25	0	1	5
	女	6,712	221	3.29%	218	168	38	0.57%	31	7	34	2	2	6
	計	13,508	459	3.40%	454	343	64	0.47%	56	8	59	2	3	11
富士宮市	男	3,657	26	0.71%	26	22	2	0.05%	2	0	2	0	0	2
	女	3,546	37	1.04%	36	30	8	0.23%	7	1	8	0	0	8
	計	7,203	63	0.87%	62	52	10	0.14%	9	1	10	0	0	10
庵 原	男	344	0	0.00%	0	0	0	0.00%	0	0	0	0	0	0
	女	388	0	0.00%	0	0	0	0.00%	0	0	0	0	0	0
	計	732	0	0.00%	0	0	0	0.00%	0	0	0	0	0	0
静岡市清水	男	4,956	20	0.40%	19	14	4	0.08%	4	0	2	0	2	1
	女	4,775	25	0.52%	25	17	8	0.17%	8	0	1	0	7	1
	計	9,731	45	0.46%	44	31	12	0.12%	12	0	3	0	9	2
静岡市静岡	男	11,444	98	0.86%	97	74	12	0.10%	12	0	7	0	5	2
	女	10,793	97	0.90%	96	70	15	0.14%	10	5	12	0	3	6
	計	22,237	195	0.88%	193	144	27	0.12%	22	5	19	0	8	8

# 平成30年度学校脊柱側弯症検診 集計結果

## 小 学 校 (2)

郡市医師会名	1次検診			2次検診(精密検診)				2次検診(精密検診)陽性者の内訳					検診未受診者のうち、以前より治療中の児童数	
	検査者数 (①)	陽性者数 (②)	率 (③)	対象者数	受診者数	陽性者数 (④)	率 (⑤)	側弯の度		側弯の種別				
								10度~19度	20度以上	特発性	先天性	その他 (マルファン他)		
焼津市	男	3,174	74	2.33%	74	64	7	0.22%	7	0	5	0	2	0
	女	2,997	58	1.94%	58	53	13	0.43%	13	0	11	0	2	1
	計	6,171	132	2.14%	132	117	20	0.32%	20	0	16	0	4	1
志太	男	4,658	19	0.41%	19	16	0	0.00%	0	0	0	0	0	1
	女	4,520	23	0.51%	22	18	3	0.07%	3	0	3	0	0	5
	計	9,178	42	0.46%	41	34	3	0.03%	3	0	3	0	0	6
島田市	男	2,034	52	2.56%	52	41	8	0.39%	6	2	8	0	0	0
	女	2,001	40	2.00%	40	32	8	0.40%	7	1	8	0	0	0
	計	4,035	92	2.28%	92	73	16	0.40%	13	3	16	0	0	0
榛原	男	2,980	29	0.97%	29	22	0	0.00%	0	0	0	0	0	0
	女	2,838	26	0.92%	26	22	7	0.25%	4	3	6	0	1	1
	計	5,818	55	0.95%	55	44	7	0.12%	4	3	6	0	1	1
小笠	男	5,211	70	1.34%	70	57	3	0.06%	2	1	2	0	1	1
	女	5,107	58	1.14%	57	41	7	0.14%	7	0	7	0	0	4
	計	10,318	128	1.24%	127	98	10	0.10%	9	1	9	0	1	5
磐周	男	4,131	13	0.31%	10	9	2	0.05%	1	1	1	0	1	0
	女	3,731	12	0.32%	11	9	1	0.03%	1	0	0	0	1	1
	計	7,862	25	0.32%	21	18	3	0.04%	2	1	1	0	2	1
磐田市	男	4,368	22	0.50%	23	18	2	0.05%	2	0	2	0	0	0
	女	4,325	15	0.35%	15	13	1	0.02%	1	0	1	0	0	2
	計	8,693	37	0.43%	38	31	3	0.03%	3	0	3	0	0	2
浜松市	男	16,399	242	1.48%	209	175	23	0.14%	21	2	20	0	3	3
	女	15,629	263	1.68%	245	203	42	0.27%	35	7	33	1	8	4
	計	32,028	505	1.58%	454	378	65	0.20%	56	9	53	1	11	7
浜名	男	2,289	15	0.66%	15	15	3	0.13%	2	1	2	0	1	1
	女	2,238	72	3.22%	72	63	9	0.40%	8	1	9	0	0	0
	計	4,527	87	1.92%	87	78	12	0.27%	10	2	11	0	1	1
浜松市浜北	男	3,236	34	1.05%	34	31	14	0.43%	14	0	13	0	1	1
	女	3,021	28	0.93%	28	24	7	0.23%	7	0	7	0	0	0
	計	6,257	62	0.99%	62	55	21	0.34%	21	0	20	0	1	1
引佐郡	男	1,187	3	0.25%	3	3	0	0.00%	0	0	0	0	0	0
	女	1,108	5	0.45%	5	4	0	0.00%	0	0	0	0	0	2
	計	2,295	8	0.35%	8	7	0	0.00%	0	0	0	0	0	2
合計	男	96,751	1,297	1.34%	1,255	1,010	129	0.13%	120	9	110	1	18	32
	女	92,951	1,352	1.45%	1,318	1,063	208	0.22%	177	31	176	4	28	53
	計	189,702	2,649	1.40%	2,573	2,073	337	0.18%	297	40	286	5	46	85

注) (1) ③の数値は、①1次検診検査者数に対する②1次検診陽性者数の比率(%)。  
(2) ⑤の数値は、①1次検診検査者数に対する④2次検診陽性者数の比率(%)。  
(3) ③及び⑤の数値は小数点以下第3位を四捨五入。  
(4) ④2次検診陽性者数について、側弯の度10度未満は異常なしとする。

# 平成30年度学校脊柱側弯症検診 集計結果

## 中学校 (1)

郡市医師会名		1次検診			2次検診(精密検診)				2次検診(精密検診)陽性者の内訳					検診未受診者のうち、以前より治療中の生徒数
		検査者数 (①)	陽性者数 (②)	率 (③)	対象者数	受診者数	陽性者数 (④)	率 (⑤)	側弯の度		側弯の種別			
									10度~19度	20度以上	特発性	先天性	その他 (マルファン他)	
賀茂	男	680	8	1.18%	8	5	0	0.00%	0	0	0	0	0	0
	女	644	10	1.55%	10	5	2	0.31%	1	1	2	0	0	1
	計	1,324	18	1.36%	18	10	2	0.15%	1	1	2	0	0	1
田方	男	1,458	46	3.16%	46	33	2	0.14%	1	1	2	0	0	2
	女	1,398	64	4.58%	64	43	8	0.57%	5	3	8	0	0	4
	計	2,856	110	3.85%	110	76	10	0.35%	6	4	10	0	0	6
伊東市	男	722	7	0.97%	7	7	0	0.00%	0	0	0	0	0	0
	女	707	7	0.99%	7	4	1	0.14%	0	1	1	0	0	2
	計	1,429	14	0.98%	14	11	1	0.07%	0	1	1	0	0	2
熱海市	男	270	10	3.70%	10	7	1	0.37%	1	0	1	0	0	0
	女	274	12	4.38%	12	10	6	2.19%	4	2	6	0	0	0
	計	544	22	4.04%	22	17	7	1.29%	5	2	7	0	0	0
御殿場市	男	1,628	14	0.86%	13	11	0	0.00%	0	0	0	0	0	1
	女	1,377	16	1.16%	12	11	4	0.29%	3	1	1	0	3	4
	計	3,005	30	1.00%	25	22	4	0.13%	3	1	1	0	3	5
三島市	男	1,456	42	2.88%	42	27	2	0.14%	2	0	2	0	0	1
	女	1,397	56	4.01%	56	39	15	1.07%	13	2	15	0	0	8
	計	2,853	98	3.43%	98	66	17	0.60%	15	2	17	0	0	9
沼津	男	4,047	121	2.99%	112	75	8	0.20%	5	3	7	1	0	13
	女	4,004	263	6.57%	248	187	60	1.50%	45	15	59	1	0	37
	計	8,051	384	4.77%	360	262	68	0.84%	50	18	66	2	0	50
富士市	男	3,384	122	3.61%	122	58	14	0.41%	11	3	13	0	1	5
	女	3,267	167	5.11%	167	102	46	1.41%	32	14	45	0	1	12
	計	6,651	289	4.35%	289	160	60	0.90%	43	17	58	0	2	17
富士宮市	男	1,851	28	1.51%	26	19	7	0.38%	5	2	5	1	1	3
	女	1,692	51	3.01%	46	37	22	1.30%	17	5	22	0	0	5
	計	3,543	79	2.23%	72	56	29	0.82%	22	7	27	1	1	8
庵原	男	214	2	0.93%	0	0	0	0.00%	0	0	0	0	0	0
	女	211	11	5.21%	10	9	5	2.37%	2	3	4	1	0	0
	計	425	13	3.06%	10	9	5	1.18%	2	3	4	1	0	0
静岡市清水	男	2,528	7	0.28%	7	6	0	0.00%	0	0	0	0	0	1
	女	2,498	149	5.96%	147	122	62	2.48%	47	15	58	2	2	16
	計	5,026	156	3.10%	154	128	62	1.23%	47	15	58	2	2	17
静岡市静岡	男	5,030	28	0.56%	26	21	2	0.04%	2	0	2	0	0	4
	女	4,655	333	7.15%	313	230	98	2.11%	80	18	95	1	2	40
	計	9,685	361	3.73%	339	251	100	1.03%	82	18	97	1	2	44

# 平成30年度学校脊柱側弯症検診 集計結果

## 中 学 校 (2)

郡市医師会名	1次検診			2次検診（精密検診）				2次検診（精密検診）陽性者の内訳					検診未受診者のうち、以前より治療中の生徒数	
	検査者数 ①	陽性者数 ②	率 ③	対象者数	受診者数	陽性者数 ④	率 ⑤	側弯の度		側弯の種別				
								10度～19度	20度以上	特発性	先天性	その他 (マルファン他)		
焼津市	男	1,552	57	3.67%	57	39	5	0.32%	5	0	5	0	0	0
	女	1,362	61	4.48%	60	33	11	0.81%	7	4	11	0	0	2
	計	2,914	118	4.05%	117	72	16	0.55%	12	4	16	0	0	2
志太	男	2,142	43	2.01%	39	29	3	0.14%	3	0	3	0	0	1
	女	1,993	79	3.96%	66	45	14	0.70%	8	6	12	0	2	3
	計	4,135	122	2.95%	105	74	17	0.41%	11	6	15	0	2	4
島田市	男	970	14	1.44%	14	4	0	0.00%	0	0	0	0	0	0
	女	870	18	2.07%	18	7	1	0.11%	0	1	1	0	0	2
	計	1,840	32	1.74%	32	11	1	0.05%	0	1	1	0	0	2
榛原	男	1,443	25	1.73%	25	15	4	0.28%	3	1	4	0	0	8
	女	1,344	30	2.23%	30	17	10	0.74%	2	8	8	0	2	13
	計	2,787	55	1.97%	55	32	14	0.50%	5	9	12	0	2	21
小笠	男	2,554	55	2.15%	55	38	6	0.23%	6	0	5	0	1	0
	女	2,368	35	1.48%	34	30	12	0.51%	10	2	12	0	0	2
	計	4,922	90	1.83%	89	68	18	0.37%	16	2	17	0	1	2
磐周	男	1,916	16	0.84%	16	16	4	0.21%	3	1	4	0	0	0
	女	1,826	14	0.77%	13	9	7	0.38%	3	4	7	0	0	1
	計	3,742	30	0.80%	29	25	11	0.29%	6	5	11	0	0	1
磐田市	男	2,049	27	1.32%	27	25	2	0.10%	1	1	2	0	0	2
	女	2,053	21	1.02%	20	17	4	0.19%	3	1	4	0	0	4
	計	4,102	48	1.17%	47	42	6	0.15%	4	2	6	0	0	6
浜松市	男	8,112	214	2.64%	151	126	25	0.31%	24	1	24	0	1	5
	女	7,247	236	3.26%	176	147	73	1.01%	44	29	70	2	1	23
	計	15,359	450	2.93%	327	273	98	0.64%	68	30	94	2	2	28
浜名	男	1,227	57	4.65%	57	49	9	0.73%	8	1	9	0	0	0
	女	1,082	57	5.27%	57	55	25	2.31%	17	8	25	0	0	0
	計	2,309	114	4.94%	114	104	34	1.47%	25	9	34	0	0	0
浜松市浜北	男	1,372	7	0.51%	5	5	2	0.15%	2	0	2	0	0	1
	女	1,374	16	1.16%	14	10	6	0.44%	2	4	6	0	0	1
	計	2,746	23	0.84%	19	15	8	0.29%	4	4	8	0	0	2
引佐郡	男	608	3	0.49%	3	3	1	0.16%	1	0	1	0	0	0
	女	525	5	0.95%	5	4	3	0.57%	1	2	3	0	0	2
	計	1,133	8	0.71%	8	7	4	0.35%	2	2	4	0	0	2
合計	男	47,213	953	2.02%	868	618	97	0.21%	83	14	91	2	4	47
	女	44,168	1,711	3.87%	1,585	1,173	495	1.12%	346	149	475	7	13	182
	計	91,381	2,664	2.92%	2,453	1,791	592	0.65%	429	163	566	9	17	229

注) (1) ③の数値は、①1次検診検査者数に対する②1次検診陽性者数の比率(%)。  
(2) ⑤の数値は、①1次検診検査者数に対する④2次検診陽性者数の比率(%)。  
(3) ③及び⑤の数値は小数点以下第3位を四捨五入。  
(4) ④2次検診陽性者数について、側弯の度10度未満は異常なしとする。

# 平成30年度 学校心臓検診集計結果報告書

## 静岡県医師会学校保健対策委員会 学校心臓検診結果検討小委員会

委員長	上田	憲	(静岡市静岡医師会)
副委員長	齋藤	昌一	(静岡県医師会)
委員	龍神	美穂	(沼津医師会)
	中山	豊明	(富士市医師会)
	向井	英之	(静岡市清水医師会)
	大川	雅龍	(榛原医師会)
	長坂	士郎	(浜松市医師会)
	福原	淳示	(沼津市立病院)
	田中	靖彦	(静岡県立こども病院)
	岩島	覚	(中東遠総合医療センター)

※この報告書は静岡県医師会ウェブサイトでもご覧いただけます。  
<http://www.shizuoka.med.or.jp/doctor/d016/d023>

# 平成30年度学校心臓検診集計に寄せて

平成30年度の学校心臓検診の集計がまとまりましたのでご報告いたします。いつもながら面倒な集計作業に快くご協力くださった学校長・養護教諭の諸先生、県および市町教育委員会、郡市医師会ならびに関係の諸先生に深謝申し上げます。また精検・追跡調査表の記載に貴重な時間を割いてご協力いただいた精密検査担当医療機関の先生にも厚く御礼申し上げます。加えて、再調査のお願いに対してご丁寧に返信をいただいた先生にも重ねて御礼申し上げます。

以下に本年度の集計結果に関するコメントを述べさせていただきます。

なお、小学校4年生については、実施自治体は477校で実施率は95.2%となりました。ちなみに本年度の試験的な検討では、高1を除けば一次検診受診者数はほぼ同じですが、精密検査受診者数も要管理者数も理由はわかりませんが10～15%減でした。

一次検診の総受診率は在籍者数81,847人（昨年84,123人で2.7%減）に対して81,674人（同様に2.7%減）で昨年同様99.8%と良好でした。一次検診の未受診者総数は昨年の163人から増加して173人ですが、主治医受診者が5人いるので、まったく検診を受けていないのは168人で0.2%でした。在籍者数は一昨年の84,752人から84,123人、81,847人と減少が続いていますが本年度の急減は気になります。主治医受診者をのぞく未受診者数は平成26年度の108人から本年度168人と、この5年間増加しております。

なお、本集計は市町教育委員会が管轄する小学校、中学校および県立高校中等部、県立高校、市立高校が対象となっているため、国立や私立の小中学校と高校が対象外となっています。とくに高校では在籍者数が中学校の29,970人から21,283人と約30%減ですので、これらの子ども達に心臓検診がどのように実行されているのか気になります。少なくとも、本事業のように専門の医師による委員会での精度管理が丁寧に行われていないのでは、と想像されます。出来れば何らかの機会を見つけて実施状況を確認したいと考えています。

一次検診者のうち要精検者数は2,989人で受診者数の3.7%と昨年からやや増加しました。学年別では、小1が1,093人（3.6%）、中1は1,120人（3.8%）、高1は776人（3.7%）といずれもやや増加傾向でした。要精検者のうち実際に精密検査を受けているのは2,492人（83.3%）と昨年と同様で、未受診者は497人に達します。うち238人は主治医に経過観察されていて、必要な精密検査を受けていないのは259人です。最近では111人、184人、204人、276人と4年連続増加傾向でしたが本年度は減少しました。いずれにしても、一次検診未受診者168人と精検未受診者259人の合計427人（0.5%）は、安全に学校生活をおくるため、特に運動に関する管理が学校でどうなっているのか危惧されます。学校管理下の事故を避けるためにも、管理漏れは極力なくしていく努力が必要と考えられ、教育委員会との意見交換会の場でも注意を促したいと思えます。また、子どもの貧困が問題視される昨今ですので、未受診の原因ではと気になります。

精密検診受診者の内で要管理となった生徒は940人となり、昨年の710人から大きく増加し、率の上でも一次検診受診者数の1.15%で昨年の0.8%から大きく増加しました。ただし主治医に受診していて精密検診未受診の数が238人あり、昨年の229人から少し増加しています。主治医受診者が必ずしも要管理者とは限りませんが、主治医受診者の動向が要管理者数に影響を与えているのかも知れません。

I. 器質異常の新規管理者は49人で昨年の39人から増加しています。主な疾患として、18人の心房中隔欠損症（ASD）が見つかっています。小1の14人に加えて中1が1人と高1が1人発見されています。ASDに関しては、年長になると体型の変化から心音が聞こえにくくなるので、喧噪の中で実施される内科検診の時に心雑音を検出する事は困難になります。不完全右脚ブロック所見がある場合は精密検診でASDのチェックが大切ですが、脚ブロックが非典型的だったり心雑音をはっきりしない場合もあるので、一度は心エコー検査で確認しておくことが望まれます。それには小1の検診時に精密検診対象者を少し拡大してASDのチェックを行い、その結果を次回からの問診票に記載する約束事にするのが良い方法かと思えます。その他にも新規の心室中隔欠損症が小1で1人、中1で2人ありました。

また、新規の心筋症は肥大型（HCM）が小1ではD区分が1人、E可が1人、高1ではD区分が1人の3人が発見されています。また既往の肥大型（HCM）は小1ではD区分が1人、中1ではC区分が1人、高1ではE可が1人でした。一方、拡張型（DCM）には新規はいませんでした。既往では小1にE禁が1人とE可が1人の2人ありました。いずれも常に注意が必要と考えられ、とくに運動に際しては主治医の指示を確実に守って欲しいものです。

II. 心電図・心音図異常の新規管理者は、昨年の424人から387人に減少しました。多いものは例年どおり心室性期外収縮です。単源性・単発の179人（小1：55人、中1：75人、高1：49人）はまず問題のないものですが、



連発・多形の14人に関しては注意が必要です。

1度、2度の房室ブロックによる新規要管理者は12人（小1：1人、中1：7人、高1：4人）でした。1度の房室ブロックは運動負荷でPRが正常化すれば管理不要に、2度ブロックもウェンケバッハ型は運動負荷により正常伝導になれば管理不要となるものですが、モビッツ型の2人は注意が必要です。単源性・単発の上室性期外収縮での要管理者は39人（小1：8人、中1：16人、高1：15人）で、連発・多形性の上室性期外収縮は4人、7人、7人でした。上室性頻拍は中1に2人認めました。単源性・単発の場合は、期外収縮の数によってE可区分と管理不要の判別が行われますが、「学校心臓の実際」改訂委員会からも具体的な数を決めるのは現時点では困難だとお返事をいただいています。新規右脚ブロックも21人（小1：6人、中1：11人、高1：4人）が管理されていますが、エコー検査で心疾患が否定されれば、ほとんどの例で管理不要と思われる。これら以外では、新規PQ短縮（WPW症候群など）は、小1：18人、中1：13人、高1：6人に認められました。PQ短縮の既往では小1：2人、中1：18人、高1：10人でした。新規QT延長は、小1：8人、中1：16人、高1：6人に認めましたが、コンピューター自動分析では心拍数75未満ではBazett法、75以上ではFridericia法の補正が望ましく、確認にはマニュアル計測での接線法が推奨されています。本症は生命に関わる不整脈ですので、とくに失神の既往や突然死の家族歴などがある場合には注意が必要です。既往者数は小1：2人、中1：9人、高1：7人でした。

Ⅲ. 既往異常は130人でしたが、大多数を占める川崎病は小1が98人、中1が10人、高1が2人の合計110人でした。この内、小1の2人がD区分であり1人は術後、E可の1人も術後、加えて中1にもE可の術後が1人いました。

なお、本年度も診断と「しおり」の管理基準が合致しないケースについては、本委員会で検討の上再調査をさせていただきます。再調査対象件数は68件で、一昨年の106件、昨年の99件と比し大幅な減少傾向を認めます。そのうち、変更なし23件、未回答10件、再調査不能2件、管理区分の変更は33件でした。指導区分を変更した33件のうち、CからE可が1件、DからE可が2件、E禁からE可が2件、E可から管理不要が28件でした。CからE可に変更された例は、単発性期外収縮でしたが、運動は制限無しと付記されていたため、指導区分との整合性が取れないのでとお願いして変更して頂いた例です。D区分の2例も同じで、E可への変更をお願いしたものです。精密検診を担当して頂く先生が内科である事が多いため、診断名と運動管理のルールをよくご存じない事、学校生活では過度の運動制限が子ども達に大きなストレスになる事への理解が十分でない事に起因していると考えています。今後も一層の情報発信が大事であると考えています。

平成26年度の「結果報告」の中に記載しましたが、県医師会の本委員会と県教育委員会の協議が合意に至り、平成27年度からは心臓検診だけではなく腎臓検診と脊柱側弯症検診も、県教育委員会より依頼を受けた医師会の事業として明文化されていることを申し添えさせていただきます。この点がその後の検診事業に良い影響を与えているものと感謝しております。

加えて本協議の場を通じて、教育現場の理解とともに各種検診事業の実施がより良好に行われて来た事をご報告致します。

静岡県医師会学校保健対策委員会  
学校心臓検診結果検討小委員会 委員長 上田 憲

## 平成30年度 学校心臓検診集計結果の概略

学校区分	在籍者数	一次検診受診者数	要 精 検 者 数 の 内 訳							一次検診未受診者数の内訳		
			精密検査受診者数の内訳				精密検査未受診者数の内訳			一次検診未受診者総数	内 訳	
			精密検査受診者総数	指導区分の内訳			精密検査未受診者総数	内 訳			①主治医受診	②その他
				①要管理	②管理不要	③その他		①主治医受診	②その他			
小学校1年生	30,594	30,576	874	268	588	18	219	103	116	18	1	17
中学校1年生	29,970	29,841	957	286	645	26	163	73	90	129	3	126
高等学校1年生	21,283	21,257	661	143	498	20	115	62	53	26	1	25
計	81,847	81,674	2,492	697	1,731	64	497	238	259	173	5	168
小学校4年生	30,581	30,535	775	232	517	26	178	81	97	46	1	45

注) 小学校4年生については、検診実施校に対して報告を求めたものであり、必ずしも県下全ての小学生の検診結果を示すものではありませんのでご注意ください。なお、本年度は477校から報告をいただきました（実施率95.2%）。

## 平成30年度学校心臓検診「再調査」による指導区分の変更について

○再調査対象件数 68件



内 訳	件数
①指導区分の変更あり	33
②指導区分の変更なし	23
③未回答	10
④再調査不可	2
計	68

○「指導区分の変更あり」の内訳

1. D→E可 2件

所 見 名	件数
心室性期外収縮 単発	1
顕性W P W症候群	1

2. C→E可 1件

所 見 名	件数
心室性期外収縮 単発	1

3. E禁→E可 2件

所 見 名	件数
心室性期外収縮 単発	1
川崎病	1

4. E可→管理不要 28件

所 見 名	件数	所 見 名	件数
不完全右脚ブロック	6	今回は問題なし	1
心室性期外収縮	2	左脚前枝ブロック、左房拡大	1
川崎病	2	左室肥大（疑い）	1
I°房室ブロック	1	心房中隔欠損症、不完全右脚ブロック	1
I°房室ブロック、II°房室ブロック ウェンケバッハ型、心室性期外収縮 単発	1	正常、家族歴あり（父：DCM）	1
II°房室ブロック ウェンケバッハ型	1	接合部調律	1
II°房室ブロック モビッツ型	1	洞性徐脈	1
RSR'パターン 正常範囲	1	洞調律	1
T 陰転 III	1	不完全右脚ブロック、上室性期外収縮 単発、心室性期外収縮 単発	1
異常Q波	1	右胸心	1
陰性T波、川崎病	1		

※以下の集計結果は、再調査により当初の指導区分が変更されたこれらの結果を踏まえたものとなります。

小学校1年生

注) 指導区分「A」「B」の該当者なし

項目	C		D			E禁			E可			小計			合計	
	既往	新規	既往	新規	既往	新規	既往	新規	既往	新規	既往	新規				
	術後	未	術後	未	術後	未	術後	未	術後	未	術後	未				
器 質 異 常	心房中隔欠損症 (ASD)		1						7	15	14	7	16	14	37	
	心室中隔欠損症 (VSD)			1					17	34	1	18	34	1	53	
	動脈管開存症 (PDA)								2	1	1	2	1	1	4	
	ファロー四徴症 (TF)					1			5			6			6	
	肺動脈弁狭窄症 (PS)			1		2			6	12	1	9	12	1	22	
	その他の先天性心疾患	1	1	2		13			19	6	6	35	7	6	48	
	僧帽弁逸脱症 (MVP)									1			1		1	
	心筋症-①肥大型 (HCM)				1	1					1		1	2	3	
	心筋症-②拡張型 (DCM)						1			1			2		2	
	川崎病後遺症				1					2			3		3	
	その他の器質異常					1				2	1	1	2	1	4	
	器質異常 小計①	1	2	4	2	1	17	1		56	74	25	78	79	26	183
心 電 図 ・ 心 音 図 異 常	右軸偏位					1						1			1	
	左軸偏位				1			1			3	2	1	4	2	7
	P波の異常															
	右心室肥大 (RVH)		1					2		1		1	3	1	1	5
	左心室肥大 (LVH)															
	洞房ブロック											1			1	1
	I°房室ブロック											1			1	1
	II°房室ブロック (ウェンケバハ型)									1			1			1
	II°房室ブロック (モビッツ型)															
	III°房室ブロック	1											1			1
	房室解離											1			1	1
	完全右脚ブロック						1			2	1	1	3	1	1	5
	不完全右脚ブロック						1			1	3	5	2	3	5	10
	左脚ブロック (LBBB)									1			1			1
	PQ短縮 (WPW等)										2	18		2	18	20
	QT延長							1			1	8		2	8	10
	異常Q波										1			1		1
	ST・Tの異常		1				1			1	1	1	2	2	1	5
	上室性期外収縮 (単発)										3	5		3	5	8
	上室性期外収縮 (連発)											3			3	3
上室性期外収縮 (多形)											1			1	1	
心室性期外収縮 (単発)							1			5	55		6	55	61	
心室性期外収縮 (連発)											2			2	2	
心室性期外収縮 (多形)																
上室性頻拍症 (SVT)																
心室性頻拍症 (VT)																
その他の心電図異常				1					1	1	2	2	1	2	5	
心音図異常																
心電図・心音図異常 小計②	1	2	1	1		7	2		8	21	107	17	26	107	150	
既 往 異 常	川崎病 (MCLS)			1	1				1	95		2	96		98	
	検診等で異常追跡中									2			2		2	
	心疾患で経過観察中						1			3		1	3		4	
	その他															
既往異常 小計③			1	1		1		1	100		3	101		104		
家 族 歴④											2			2	2	
総 計 A (①+②+③+④)	2	4	6	4	1	25	3		65	195	134	98	206	135	439	
重複所見調整 B	1	3	3	2		9			16	17	16	29	22	16	67	
要管理者実人数 (A-B)	1	1	3	2	1	16	3		49	178	118	69	184	119	372	
指導区分別合計	2		6			19			345			372				

中学校1年生

注) 指導区分「A」「B」の該当者なし

項目	C		D			E禁			E可			小計			合計			
	既往	新規	既往	新規	新規	既往	新規	新規	既往	新規	既往	新規	新規					
	術後	未	術後	未	術後	未	術後	未	術後	未	術後	未	術後	未				
器 質 異 常	心房中隔欠損症 (ASD)								14	10	1	14	10	1	25			
	心室中隔欠損症 (VSD)								26	17	2	26	17	2	45			
	動脈管開存症 (PDA)								5	3		5	3		8			
	ファロー四徴症 (TF)								7			7			7			
	肺動脈弁狭窄症 (PS)								2	6		2	6		8			
	その他の先天性心疾患			2	1			9				24	21	7	35	22	7	64
	僧帽弁逸脱症 (MVP)										2				2	2		
	心筋症-①肥大型 (HCM)		1											1		1		
	心筋症-②拡張型 (DCM)																	
	川崎病後遺症										3			3		3		
	その他の器質異常		1						1	1	1	1	2	1	4			
器質異常 小計①		2		2	1		9		79	61	13	90	64	13	167			
心 電 図 ・ 心 音 図 異 常	右軸偏位								1		1	1		1	2			
	左軸偏位										2			2	2			
	P波の異常																	
	右心室肥大 (RVH)									1			1		1			
	左心室肥大 (LVH)		1							1	1		2	1	3			
	洞房ブロック										1			1	1			
	I°房室ブロック										3			3	3			
	II°房室ブロック (ウェンケバハ型)									1	4		1	4	5			
	II°房室ブロック (モビッツ型)																	
	III°房室ブロック																	
	房室解離										1			1	1			
	完全右脚ブロック									3		4	3		4	7		
	不完全右脚ブロック									1	7	7	1	7	7	15		
	左脚ブロック (LBBB)										1			1	1			
	PQ短縮 (WPW等)										18	13		18	13	31		
	QT延長		1								8	16		9	16	25		
	異常Q波											2			2	2		
	ST・Tの異常									1		4	1		4	5		
	上室性期外収縮 (単発)										4	12		4	12	16		
	上室性期外収縮 (連発)										3	3		3	3	6		
上室性期外収縮 (多形)											1			1	1			
心室性期外収縮 (単発)										24	75		24	75	99			
心室性期外収縮 (連発)										2	7		2	7	9			
心室性期外収縮 (多形)										2	1		2	1	3			
上室性頻拍症 (SVT)										1	1		1	1	2			
心室性頻拍症 (VT)										1			1		1			
その他の心電図異常										1	4		1	4	5			
心音図異常																		
心電図・心音図異常 小計②		2							6	74	164	6	76	164	246			
既 往 異 常	川崎病 (MCLS)								1	9		1	9		10			
	検診等で異常追跡中									1			1		1			
	心疾患で経過観察中		1		1					3			5		5			
	その他																	
既往異常 小計③		1		1				1	13		1	15		16				
家 族 歴④										1				1	1			
総 計 A (①+②+③+④)		5		2	2		9		86	148	178	97	155	178	430			
重複所見調整 B		1							14	24	29	14	25	29	68			
要管理者実人数 (A-B)		4		2	2		9		72	124	149	83	130	149	362			
指導区分別合計		4		4			9		345			362						

高等学校1年生

注) 指導区分「A」「B」の該当者なし

項目	C		D			E禁			E可			小計			合計	
	既往	新規	既往	新規	新規	既往	新規	新規	既往	新規	既往	新規				
	術後	未	術後	未	術後	未	術後	未	術後	未	術後	未				
器 質 異 常	心房中隔欠損症 (ASD)					1			5	4	3	6	4	3	13	
	心室中隔欠損症 (VSD)					1			4	9		5	9		14	
	動脈管開存症 (PDA)															
	ファロー四徴症 (TF)					1			2			3			3	
	肺動脈弁狭窄症 (PS)					1				2		1	2		3	
	その他の先天性心疾患			1		3	1		12	8	5	16	9	5	30	
	僧帽弁逸脱症 (MVP)			1			1			3		1	4		5	
	心筋症-①肥大型 (HCM)				1					1			1	1	2	
	心筋症-②拡張型 (DCM)															
	川崎病後遺症									2			2		2	
	その他の器質異常									2	1		2	1	3	
	器質異常 小計①			2	1	7	2		23	31	9	32	33	10	75	
心 電 図 ・ 心 音 図 異 常	右軸偏位										3			3	3	
	左軸偏位										1			1	1	
	P波の異常									1	1		1	1	2	
	右心室肥大 (RVH)															
	左心室肥大 (LVH)				1						3			4	4	
	洞房ブロック															
	I°房室ブロック									2	1		2	1	3	
	II°房室ブロック (ウェンケバッハ型)									4	1		4	1	5	
	II°房室ブロック (モビッツ型)										2			2	2	
	III°房室ブロック						1						1		1	
	房室解離									1	1		1	1	2	
	完全右脚ブロック						1			2			3		3	
	不完全右脚ブロック									2	2	4	2	2	4	8
	左脚ブロック (LBBB)															
	PQ短縮 (WPW等)										10	6		10	6	16
	QT延長				1						6	6		7	6	13
	異常Q波		1											1	1	
	ST・Tの異常		1		1					1	1	6	1	2	7	10
	上室性期外収縮 (単発)										5	10		5	10	15
	上室性期外収縮 (連発)										1	4		1	4	5
上室性期外収縮 (多形)											2			2	2	
心室性期外収縮 (単発)								1		22	48		22	49	71	
心室性期外収縮 (連発)										2	4		2	4	6	
心室性期外収縮 (多形)										1			1	1	1	
上室性頻拍症 (SVT)																
心室性頻拍症 (VT)																
その他の心電図異常									1	2	9	1	2	9	12	
心音図異常											1			1	1	
心電図・心音図異常 小計②		2		1	2	1	1	1	6	60	113	7	64	116	187	
既 往 異 常	川崎病 (MCLS)										2		2		2	
	検診等で異常追跡中															
	心疾患で経過観察中		1		1						5		7		7	
	その他										1		1		1	
既往異常 小計③		1		1						8		10		10		
家 族 歴④		1											1	1		
総 計 A (①+②+③+④)		4		2	2	3	8	3	1	29	99	122	39	108	126	273
重複所見調整 B		3			2	4				7	19	32	11	22	34	67
要管理者実人数 (A - B)		1		2	2	1	4	3	1	22	80	90	28	86	92	206
指導区分別合計		1		5		8				192			206			

**参 考** 小学校4年生

本集計については、検診実施校に対して報告を求めたものです。平成30年度は、477校から報告をいただきました（実施率95.2%）。

注) 指導区分「A」「B」の該当者なし

項目	C		D			E禁			E可			小計			合計	
	既往	新規	既往	新規	既往	新規	既往	新規	既往	新規	既往	新規				
	術後	未	術後	未	術後	未	術後	未	術後	未	術後	未				
器 質 異 常	心房中隔欠損症（ASD）							14	7	5	14	7	5	26		
	心室中隔欠損症（VSD）						1	25	26		25	27		52		
	動脈管開存症（PDA）							5	1		5	1		6		
	ファロー四徴症（TF）					3		7			10			10		
	肺動脈弁狭窄症（PS）					1		1	5		2	5		7		
	その他の先天性心疾患					6	2	15	13	6	21	15	6	42		
	僧帽弁逸脱症（MVP）								1			1		1		
	心筋症-①肥大型（HCM）		1						1			2		2		
	心筋症-②拡張型（DCM）															
	川崎病後遺症															
	その他の器質異常				1				3			4		4		
	器質異常 小計①		1		1			10	3		70	54	11	81	58	11
心 電 図 ・ 心 音 図 異 常	右軸偏位									1			1	1		
	左軸偏位							1	1		1	1		2		
	P波の異常															
	右心室肥大（RVH）															
	左心室肥大（LVH）															
	洞房ブロック															
	I°房室ブロック															
	II°房室ブロック（ウェンケバッハ型）									2				2	2	
	II°房室ブロック（モビッツ型）															
	III°房室ブロック									2			2		2	
	房室解離															
	完全右脚ブロック								2	2	1	2	2	1	5	
	不完全右脚ブロック								1	5	5	1	5	5	11	
	左脚ブロック（LBBB）									1			1		1	
	PQ短縮（WPW等）									15	7		15	7	22	
	QT延長						1		1	6	12	1	7	12	20	
	異常Q波															
	ST・Tの異常		1								1		1	1	2	
	上室性期外収縮（単発）									2	9		2	9	11	
	上室性期外収縮（連発）										3			3	3	
	上室性期外収縮（多形）															
	心室性期外収縮（単発）							1		22	54		22	55	77	
	心室性期外収縮（連発）									1	5		1	5	6	
心室性期外収縮（多形）									2	1		2	1	3		
上室性頻拍症（SVT）										1			1	1		
心室性頻拍症（VT）																
その他の心電図異常										1	1		1	1	2	
心音図異常																
心電図・心音図異常 小計②		1					1	1	5	60	103	5	62	104	171	
既 往 異 常	川崎病（MCLS）									34	1		34	1	35	
	検診等で異常追跡中									4			4		4	
	心疾患で経過観察中															
	その他															
既往異常 小計③									38	1		38	1	39		
家族歴④									1	1		1	1	2		
総計 A (①+②+③+④)		2		1			10	4	1	75	153	116	86	159	117	362
重複所見調整 B		1					2	1		11	20	13	13	22	13	48
要管理者実人数 (A-B)		1		1			8	3	1	64	133	103	73	137	104	314
指導区分別合計		1		1			12			300			314			